

受験番号					
1	2	3	4	5	6

4枚中1枚目

### 化学解答用紙

(総合理工学部[物質科学科を除く])  
(生物資源科学部)

コード 3 7	得 点 8	1	2	3	6			
		11	12	14	15	17	18	20

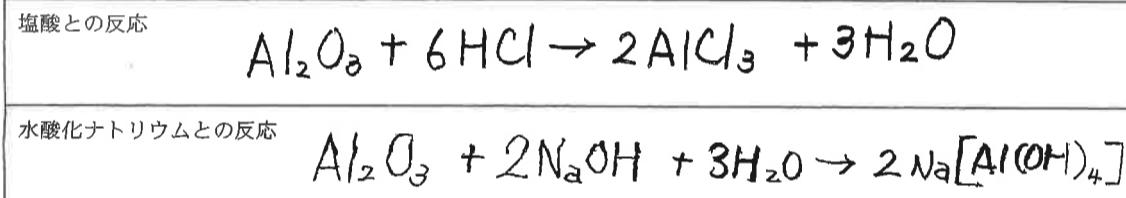
問 1

ア 水素	イ 両性	ウ イオン化傾向
エ ボーキサイト	オ 酸化アルミニウム	カ 融解塩
キ ジュラルミン	ク 複塩	

問 2



問 3

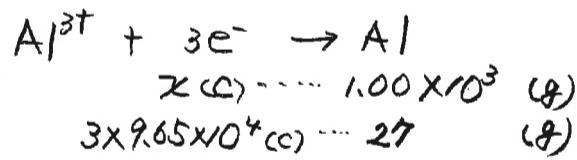


問 4

計算の過程

陰極において  $\text{Al}^{3+} + 3e^- \rightarrow \text{Al}$  の反応が生じる。

求める電気量を  $X(\text{C})$  とする。



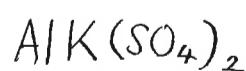
$$\frac{X}{3 \times 9.65 \times 10^4} = \frac{1.00 \times 10^3}{27} \quad X = \frac{1.00 \times 10^3 \times 3 \times 9.65 \times 10^4}{27} = 1.072 \times 10^7 (\text{C})$$

答

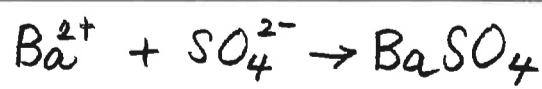
$$1.07 \times 10^7$$

C

問 5



問 6



採点欄	
-----	--

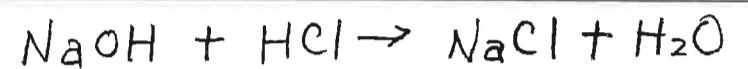
受験番号					
1	2	3	4	5	6

4枚中2枚目

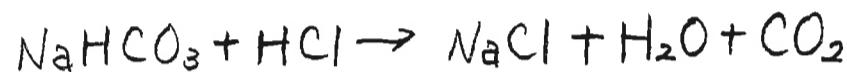
## 化学解答用紙

(総合理工学部(物質科学科を除く)  
(生物資源科学部)

問 1



問 2

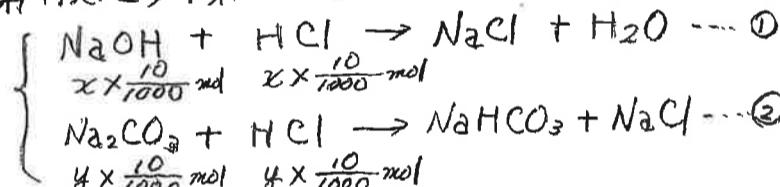


問 3

計算の過程

混合溶液中の水酸化ナトリウム溶液のモル濃度を  $x \text{ mol/L}$ 、炭酸ナトリウム水溶液のモル濃度を  $y \text{ mol/L}$  とする。

第1段階の中和では、

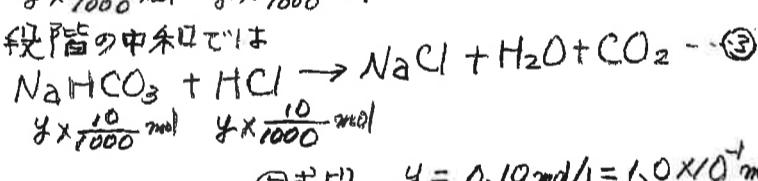


0.100 mol/L HCl 15.0 mL 使用

していきから  
①, ②式より

$$x \times \frac{10}{1000} + y \times \frac{10}{1000} = 0.100 \times \frac{15.0}{1000} \cdots \textcircled{2}$$

第2段階の中和では、



0.100 mol/L HCl 10.0 mL 使用して

いきから

$$\textcircled{3} \text{式より } y \times \frac{10}{1000} = 0.100 \times \frac{10}{1000} \cdots \textcircled{4}$$

$$\textcircled{5} \text{式より } y = 0.10 \text{ mol/L} = 1.0 \times 10^{-2} \text{ mol/L}$$

④式に  $y = 0.10$  を代入する

$$x \times 10 + 0.10 \times 10 = 0.100 \times 15.0$$

$$x = 0.050 = 5.0 \times 10^{-2} \text{ mol/L}$$

水酸化ナトリウムの濃度 $5.0 \times 10^{-2}$ mol/L	炭酸ナトリウムの濃度 $1.0 \times 10^{-2}$ mol/L
--	---

問 4

番号 (3)	化学式 $\text{Fe(OH)}_3$	番号 (5)	化学式 $\text{CaCO}_3$
-----------	--------------------------	-----------	------------------------

採点欄

受験番号					
1	2	3	4	5	6

4枚中3枚目

## 化 学 解 答 用 紙

(総合理工学部(物質科学科を除く))  
(生物資源科学部)

問 1 計算の過程

$$V = k_c [H_2O_2]$$

過酸化水素の濃度が  $1.7 \text{ mol/L}$  のとき 分解速度は  $0.0014 \text{ mol/(L}\cdot\text{s)}$  であるから

$$0.0014 = k_c \times 1.7 \\ k_c = \frac{0.0014}{1.7} = 0.000823 \dots = 8.2 \times 10^{-4} \text{ /s}$$

速度式	$V = k_c [H_2O_2]$
-----	--------------------

速度定数	$8.2 \times 10^{-4} (\text{/s})$
------	----------------------------------

問 2 (A)

記号 (ア) 理由 温度を上げると、活性化エネルギー以上のエネルギーをもつ

分子が増加し 反応する可能性のある  $H_2O_2$  分子が増加する。また衝突回数も増加する

(B)

記号 (ア) 理由 活性化エネルギーが 触媒によつて 低くなり

$H_2O_2$  分子の反応が増加する。

問 3

答  $T_2$

理由 高温になると反応速度が大きくなる。 $T_2$  は平衡に達する

までのアンモニア物質量曲線の傾きが大きいから 反応速度が大きいとわかる

問 4

答 発熱反応

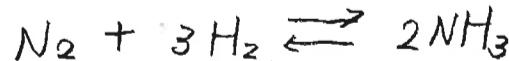
理由 高温  $T_2$  の時より低温  $T_1$  の時が アンモニアの生成量が多い

レシヤトリエの原理では、低温にすると発熱反応の向きに平衡が移動する。

よつて右向きが 発熱反応である。

問 5

計算の過程



反応前	2.0 mol	7.0 mol	
変化量	-1.0 mol	-3.0 mol	+2 mol
平衡時	1.0 mol	4.0 mol	2.0 mol

容積 1.0L であるから  $[N_2] = 1.0 \text{ mol/L}$   $[H_2] = 4.0 \text{ mol/L}$   $[NH_3] = 2.0 \text{ mol/L}$  となる

$$K_c = \frac{[NH_3]^2}{[N_2][H_2]^3} = \frac{(2.0)^2}{1.0 \times (4.0)^3} = 6.3 \times 10^{-2}$$

答	$6.3 \times 10^{-2} (\frac{\text{mol}^2}{\text{mol}^2})$
---	--

採点欄

受験番号					
1	2	3	4	5	6

4枚中4枚目

## 化学解答用紙

(総合理工学部[物質科学科を除く])  
(生物資源科学部)

6	問1	ア グリコシド	イ 希酸	ウ 転化糖	エ $Cu_2O$
---	----	---------	------	-------	-----------

問2	銀鏡反応
----	------

問3	番号 (1) (2) (3)	官能基の名称 アルデヒド基
----	-------------------	------------------

問4	化学反応式 $[C_6H_{10}O_5]_n + nH_2O \rightarrow n C_6H_{12}O_6$	計算の過程 グリコースを $xg$ とする $\frac{50.0}{162n} : \frac{x}{180} = 1_{(mol)} : n_{(mol)}$ $x = 55.6g = 5.56 \times 10g$	答 $5.56 \times 10$ g
----	--	--	----------------------------

問5	化学反応式 $C_6H_{12}O_6 \rightarrow 2C_2H_5OH + 2CO_2$	計算の過程 生成するエタノールを $xg$ とする $\frac{60.0}{180} : \frac{x}{46} = 1_{(mol)} : 2_{(mol)}$ $x = 30.6g = 3.07 \times 10g$	答 $3.07 \times 10$ g
----	---	--	----------------------------

問6	DNA デオキシリボース	RNA リボース	採点欄
----	-----------------	-------------	-----